

全国の舞台で活躍!

全国高校総体ホッケー競技
準優勝 横田高校 男子ホッケー部

全日本中学生ホッケー選手権大会
準優勝 仁多中学校 男子ホッケー部
3位 横田中学校 男子ホッケー部

▼横田高校男子ホッケー部



8月1日から5日まで福井県で開催された平成24年度全国高校総体ホッケー競技において、横田高校男子ホッケー部が準優勝に輝きました。

8月6日には、役場両庁舎で準優勝報告会が行われ、多くの保護者や町民が駆けつけ、選手の活躍を称えました。

朝倉祐樹主将から「優勝まであと一歩だったが、一人一人が精一杯戦い、春の選抜大会からの成長を実感できた。これからさらにレベルアップして、国体では優勝できるよう頑張りたい」、また、伊藤直登監督から「厳しい暑さの中での苦しい試合だったが、選手たちは最後までよく頑張った。準優勝できたことは選手たちの自信につながった」とそれぞれあいさつがありました。

女子ホッケー部は一回戦で栃木県の今市高校と対戦し、3対2で惜しくも敗れましたが、健闘しました。

これから男子ホッケー部は、9月28日から開催される岐阜国体に向け、更に厳しい練習を重ね、優勝を目指します。

栃木県で開催された第42回全日本中学生ホッケー選手権大会において、仁多中学校男子ホッケー部が準優勝、横田中学校男子ホッケー部が第3位を獲得しました。

今大会は、試合前日に選手や関係者たちに集団食中毒が発生するアクシデントがあり、試合時間を短縮して行われるなど、健康状態が心配され厳しい状況での大会となりましたが、選手たちは今までの練習の成果を発揮し、素晴らしい活躍をみせてくれました。

また、準決勝では、仁多中学校と横田中学校の対戦となり、6対1で仁多中学校が勝利しましたが、奥出雲町のホッケーの強さを全国にアピールしました。

8月22日に行われた報告会で、仁多中学校の渡部楽夢主将は「決勝戦で負けたのは残念だったが準優勝できてよかった」、横田中学校の杠直輝主将は「第3位の結果が残せたのは地域の方々の応援のおかげ」とそれぞれあいさつしました。

仁多中学校女子ホッケー部はベスト16位、横田中学校女子ホッケー部はベスト8と健闘しました。



▲仁多・横田中学校男子ホッケー部

「安心して働ける職場を目指して」

町立奥出雲病院 院内保育所を開所

町立奥出雲病院に院内保育所が完成し八月八日、井上町長や春日正己病院長、関係者など約五十人が出席して開所式が行われました。

この保育所は、院内の女性職員へのアンケート結果をもとに、病院に安心して勤務できるようにと病院敷地内に開設されたもの。木造平屋建ての園舎には、乳児室や保育室、園庭が設けられています。

定員は十名で、奥出雲病院に勤務する医療従事者の就学前までの子どもを対象に、夜間と休日のみ開所しています。式では、井上町長から「働き世帯が増加しているなか、院内保育所の設置は、子育てを理由にした退職を防ぎ、医療従事者の確保につながる。この保育所が、子育て支援だけでなく、病院の医療充実にもつながってほしい」とあいさつがありました。

続いて、保育所玄関前で、入所する子どもたちや関係者によってくす玉が割られ、完成を祝いました。

施設の愛称も「奥出雲おろちキッズ」に決まり、これから子どもたちの元気な声が、患者さんや医療従事者を笑顔にしてくれることでしょう。



▲くす玉を割って開所をお祝い



▲明るく広々とした保育室

横田中学校生徒 たたら操業体験



▲村下と村下養成員の指導のもと砂鉄を装入

横田中学校の生徒約六十人が、八月七日に事前学習会、九日と十日の二日間、大呂の鳥上木炭銚工場(日刀保たたら)で「たたら体験学習」を行いました。この体験学習は、先人の知恵と技術、自分たちの郷土を学ぶことを目的に、昭和六十三年から毎年夏休みに行われており、今年で二十五回目となります。体験学習の一日目は、炭切りや砂鉄の調合、二基の炉作りなどの操業の準備を分担して行いました。

二日目は、火入れされた二つの炉に、約十分間隔で砂鉄と炭を交互に装入しました。生徒たちは、装入する砂鉄や木炭の計量、炉の温度の測定、鑪による送風など、作業を分担して協力しながら操業を行い、百五十七・八キロの砂鉄と三百四十四キロの木炭を約六時間かけて装入しました。

はじめは、炉から燃え上がる炎の迫力に驚いていましたが、村下と村下養成員の指導を受けながら、暑さに耐え懸命に作業を行っていました。砂鉄と木炭の装入を終えると、村下役の生徒を中心に協力して二基の炉を解体。玉鋼を含んだ赤々としたケラ六十ニキを懸命に取り出すと、生徒たちから大きな歓声が上がりました。

参加した生徒からは「暑い中での作業は大変だったが、ケラが出てきたとき、二日間頑張った成果がでて良かった」と、貴重な体験をやり遂げた充実感と達成感に満ち溢れていました。



▲慎重に炉を解体する様子